

【テーマ設定型寄付】

—全13事業—

寄付者様がテーマを設定した趣旨

アサヒビール株式会社近畿圏統括本部

奈良県の豊かな自然や美しい環境の保護・保全

奈良県は、北部には、奈良盆地の田園風景及びそこに散在する数多くの文化遺産が一体となって、素晴らしい歴史的な自然環境が形成されています。また、南部吉野山地は、すぐれた山岳風景とそこに息づく多様な動植物が織りなす素晴らしい自然環境に恵まれており、豊かな自然とふれあうことができます。

今回、奈良県内の里地・里山での生物多様性の保持やその理解促進のための教育活動などを支援することで、豊かで美しい奈良の自然環境を、将来の世代に引き継いでいきたいと考えています。



平成 27 年 2 月 13 日 寄付受領式

イオングループ

奈良の文化遺産やまちなみの保全

私たちイオングループは、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、様々な環境・社会貢献活動に取り組んでいます。奈良県には、文化遺産をはじめ、近世の面影を残す歴史的なまちなみを有する地区も数多く存在します。

今回、「古都ならWAON」カードの利用金額の一部を寄付し、奈良の文化遺産やまちなみの保全活動、及びそれらを活用した地域の活性化活動を支援することで、「古都なら」の保全・活性化に役立てていただきたいと思います。



平成 27 年 6 月 2 日 寄付受領

大和信用金庫

大和川水系の水環境改善

奈良県民の憩いの場であるべき大和川は、全国1級河川ランキングワーストを脱却し、水質の改善が進んでいます。大和信用金庫は、地域社会とともに歩む地域の金融機関として、大和川のBOD(生物化学的酸素要求量)値の改善度合いに応じて金利を上乗せする「大和川定期預金」の取扱いなど、水質改善に向けた幅広い活動を行っています。

今回、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援することで、さらなる環境改善に役立てていただきたいと思います。



平成 27 年 7 月 10 日 寄付受領

財団法人奈良県青少年会館

青少年の健全育成

当会館の解散に伴い、その残余財産を県内の青少年の健全育成を支援するために寄付します。具体的には、青少年によるボランティア活動や社会貢献活動など青少年の主体的な活動に役立てていただきたいと思います。

※寄付受領日は平成 27 年 6 月 16 日。解散に伴う寄付のため、寄付受領式は未実施。

寄 付 者：アサヒビール株式会社
 テ ー マ：奈良県の豊かな自然や美しい環境の保護・保全活動事業

吉野山「^{ほうたいこう}豊太閤花見塚」のヤマザクラの現状とその対策事業

補助金額
302,000 円

補助事業の背景と目的

広範囲に植栽されているヤマザクラ(以下、桜という)はその衰退原因は様ではなく、花見塚の桜の衰退原因を明らかにし、その対応策を確立することを目的としました。また、対応策が、植栽環境の類似している箇所への衰退に当てはめられるかも検討しました。

補助事業の実施内容

「豊太閤花見塚」の桜は、植栽後数十年は経過しているが、樹勢衰退が激しく、既存樹の間隙に補植が続けられています。しかし、その補植された桜も健全には生育していません。その原因を調査し、維持管理方法を管理団体等へ提案しました。

- 平成 27 年
- 4 月～10 月 資料収集、現地調査（現地 9 回）
位置図、植生調査、土壌調査、桜樹形状調査、
病虫害発生消長調査
- 12 月 取り纏め、報告書原案作成
- 平成 28 年
- 2 月 報告書内容の現地確認検討（現地 1 回）
- 2 月 最終報告書作成

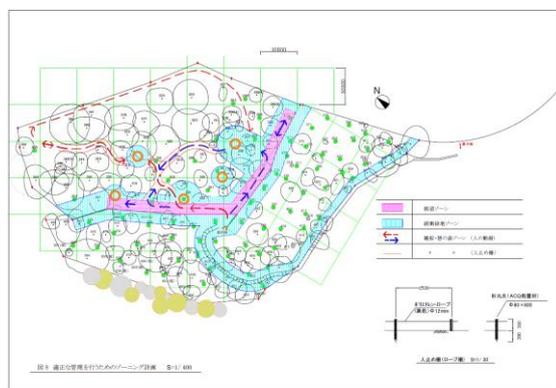


▲調査の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

調査結果を報告書に取り纏め、「提言と対応策」「今後の桜樹林管理の具体的な進め方」等で提案しました。吉野山の桜樹林を守るため、類似した新たな植栽区域も整備されています。「豊太閤花見塚」の調査と同様な手法を用いて、全体構想に沿った吉野山全域の「樹林管理台帳」を作成して、全区域毎の具体的な管理計画を樹立することが重要と思います。「豊太閤花見塚」の調査内容が参考と、樹勢回復の一助となることを期待します。

▼調査図



寄付者からの声

寄付者： アサヒビール株式会社
 「豊太閤花見塚」のヤマザクラ衰退の厳しい現状の中、弊社寄付金が樹勢回復に向けた事業に貢献できて光栄に存じます。奈良の美しい自然景観の継承を心より祈念いたします。

<p>団体名</p>	<p>樹木環境研究会議</p>	<p>【団体の設立経緯・目的】</p>
<p>所在地</p>	<p>奈良市平松 3-20-14</p>	<p>樹木医の知識と技術を活用して、奈良県内の巨樹・名木等を含め、広く環境保全に寄与する事を目的とする。</p>
<p>活動の様子 (小学生への講義)</p>		<p>【団体の主な活動の内容】</p> <p>樹木の診断治療、森林等の保全、樹木文化の継承と普及啓発に関する活動等を地域住民と連携して行っている。</p>

テーマ設定型

寄 付 者：アサヒビール株式会社

テ ー マ：奈良県の豊かな自然や美しい環境の保護・保全活動事業

里山保全『You+Me』プロジェクト

補助金額
290,129円

補助事業の背景と目的

持続可能な里山の未来を目指して・・・うだ夢創の里でのこれまでの無農薬栽培の経験を活かし、荒廃の止まらない里山の景観保全と自然豊かな原風景を次世代に受け継いでいくモデルとなる活動を行うことを目的とします。

補助事業の実施内容

集落の中心部に広がる耕作放棄地の開墾と整備を行いました。ここに宇陀市の特産品の黒豆や菜の花を栽培し景観保全と無農薬の農産物の生産を行いました。室生西小学校の生徒たちと黒豆の種の育苗から始め、苗の植え付け、草刈、土寄せなどを経て、10月には枝豆の収穫体験を実施しました。11月にはトラクターでの耕耘ののち、菜の花の種まきをし、沿線に黄色の絨毯の美しい景観を作ることができました。



▲菜の花の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

黒豆は、小学生の農業体験で家族ともに喜んでもらえ、近隣の住民たちと収穫ができました。菜の花は奈良県産菜種油となるよう今後は県内のNPOと連携しながら栽培していく予定です。今後も黒豆、菜種、小麦や、サツマイモ、葉物類も農業体験というような形で耕作し、豊かな原風景を守っていきたいと思います。



▲小学生との黒豆枝豆の収穫体験

寄付者からの声

寄付者：アサヒビール株式会社

耕作放棄地が、美しい里山の景観に生まれ変わり、心豊かなまちづくりに弊社寄付金がお役立ちできて光栄です。これからも自然豊かな里山を守り続けてください。

団体名 特定非営利活動法人 うだ夢創の里

所在地 宇陀市室生大野2130 - 1

活動の様子
(里の農業体験は野外料理体験もできます)



【団体の設立経緯・目的】

美しい里山の暮らしと、人々が楽しく集まる場と心豊かなまちづくりに貢献することを目的としています。

【団体の主な活動の内容】

「食と体験で人とつながる事業」「耕作放棄地を利用して農とつながる事業」の2本を中心に活動しています。

寄 付 者：アサヒビール株式会社
 テ ー マ：奈良県の豊かな自然や美しい環境の保護・保全活動事業

「子どものエコライフ学習」

補助金額
222,907 円

補助事業の背景と目的

大幅に増え続けている日本の家庭部門の二酸化炭素排出量の低減化を図るため、奈良県内公立小学校に出向き、親を巻き込み、”家庭のエコライフ”を実践・継続して頂くことを狙い、学習会を実施しました。

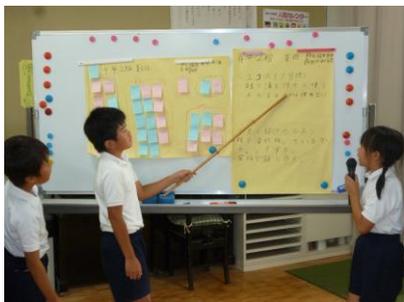
補助事業の実施内容

小学4～6年生を対象に、夏(冬)休み期間中、親を巻き込み、家庭のエコライフを実践いただくため、学びの学習会・創造の学習会を実施しました。

H27.6.22(月)～H28.1.27(水) 県内公立小学校4～6年対象 28回実施しました。



▲「学びの学習会」



▲「創造の学習会」

補助事業の成果と今後の活動に向けて

学習会終了後、ご家庭からいただいた「おうちの方アンケート」によると、93%のご家庭から次のような大変高い評価をいただきました。

- ・「今まで知らなかったエコのやり方を子どもから教えてもらった」
- ・「子どもと一緒にエコをやれて良かった」
- ・「子どもが大変変わった。今まで、電気やテレビのつけっ放しを注意しても直らなかったが、最近は、逆に親が子どもから注意されるようになった」
- ・「子どもからテキストを見せて貰い、これを参考に、家族がエコに取り組んでいます」

今後の活動

ご家庭で、長く”家庭のエコライフ”を継続いただくため、「奈良の環境家計簿」にインプットいただく方を増やすことに取り組みます。

寄付者からの声

寄付者：アサヒビール株式会社

未来を担う子供たちに、地球温暖化防止の意義と大切さを学んでいただくことに、弊社寄付金をご活用いただきありがとうございます。今後の更なる有意義なご活動を期待しています。

団体名	特定非営利活動法人 エコライフ生駒	【団体の設立経緯・目的】
所在地	生駒市辻町70番地14アーバンライフA-403	進み行く地球温暖化を憂い、地球温暖化防止活動を行い、人間社会の繁栄に寄与する。
活動の様子 (学習会の様子)		【団体の主な活動の内容】
		<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県内公立小学校へ出向き、環境教育を実施する。 ・成人を対象として、環境セミナーを実施する。

テーマ設定型

寄 付 者：イオングループ

テ ー マ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

御所市葛城地域における「葛城の道整備」

補助金額
500,000円

補助事業の背景と目的

「葛城の道」は金剛・葛城の山麓を南北に位置する、見所いっぱいの全長13kmのハイキングコースです。そのうち葛城地域は6kmで、急こう配の場所が多くあります。年配者、女性や子供達でも安全・安心にハイキングを楽しんでいただくため、急坂や危険と思われる箇所に「手摺りやすべり留め階段」を設置して、沢山の方楽しんでいただき、地域活性化を図ることができます。

補助事業の実施内容

「葛城の道」を、安全安心にハイキングを楽しんでいただくため、草刈りや手摺り・スベリ留め階段設置をボランティア活動で整備しました。具体的には、①急坂や危険な場所に単管で手摺りを設置しました。太さ48mm、長さ1.5mの単管を杭にし、手摺りは太さ32mm長さ5.5mの単管（この太さが持ち易い）を使用し、この単管を金具で固定し、手摺りとしました。②坂道には手摺りではなく、スベリ留め階段の方が適している所があり、プラ擬木を使用して階段を設置、プラ擬木は太さ10cmセンチ、長さ1mを使用し、留め杭は太さ6cm長さ50cmを使用しています。



▲「葛城の道」整備風景

補助事業の成果と今後の活動に向けて

葛城の道をハイキングされている方々から、坂の上り下りについて、安心・安全で歩き易いとの評価をいただきました。平成27年11月23日には奈良県ウォーキング協会、御所市観光協会主催のウォーキングイベントがあり、これに間に合わせるため、活動スケジュールを早めて実施しました。地元特産物を活用した「おもてなし」も含め、整備した道についても大変好評でした。草刈りボランティア活動の実施や「葛城古道癒しの散策ルート」マップを2万部配布し、PR活動しています。また危険な場所の整備に努めます。



▲「葛城の道」RP

寄付者からの声

寄付者：イオングループ

金剛山麓に位置する「葛城の道」をより安全・安心な道にし、多くの方に利用できるよう整備する事業に弊社の「古都ならW A O N」カード寄付金をご利用いただきありがとうございます。これからも地域のボランティア活動を継続下さい。

団体名 かづらき煌ネットワーク

所在地 御所市伏見 472

活動の様子
(ウォーキングイベントの様子)



【団体の設立経緯・目的】

自然環境に恵まれ、古の神社仏閣が多く歴史豊かな郷土で、各種の活動を通じて地域活性化に寄与する。

【団体の主な活動の内容】

歴史研鑽会、地域活性化イベント開催、ボランティア活動、写真展等地域のPR活動です。

寄 付 者：イオングループ
 テ ー マ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

大正レトロ生活体験館 in 旧岩本家住宅

補助金額
 220,837 円

補助事業の背景と目的

大正時代の実生活を再現し、そこでの生活を実際に体験してもらうことを目的としました。

補助事業の実施内容

セミナー（当時の内容）や簡単な作業をしていただき、大正期の食生活や日頃の生活スタイルを体験していただきました。また、風習・習慣にも触れていただき、失われた大正期の生活スタイルや文化を再現しました。会場は、それに相応しい県立民俗博物館にある旧岩本家住宅で行いました。



▲イベントの様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

参加者総勢36名（男子17名、女子19名）、年齢層は小学生から70年代まで幅広く来ていただきました。午前中の講演内容は、大正7年の米騒動や大正期の食生活に関する内容について、講義を行いました。また、亥の子餅作りでは、全員が興味深く参加して楽しい時をもてたと思います。参加者のアンケートでは、「次回も是非企画して欲しい」との意見がありました。

参加状況と参加者の評価を参考に、今後も失われた文化の意義を意識して活動していきたいと思えます。



▲旧岩本家住宅

寄付者からの声

寄付者： イオングループ

重要文化財である「古民家」を活用し、当時の生活体験と住宅の保存・維持する事業に弊社の「古都ならWAON」カード寄付金をご利用いただきありがとうございます。これからも歴史ある建物の保全を実施ください。

団体名	特定非営利活動法人 明治・大正・昭和初期の古民家を大切にする会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	宇陀市榛原篠楽269-3	現存する優れた古民家の文化財意識啓発を目的に平成26年5月設立しました。
活動の様子 (研修会 の様子)		【団体の主な活動の内容】
		古民家に関する評価・鑑定・調査・記録整備・保存処理・管理運営。また、書籍発行・民俗資料の保存整備などを行ないます。

テーマ設定型

寄 付 者：イオングループ

テ ー マ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

「大和のわらべうた」記録作成事業

補助金額
500,000 円

補助事業の背景と目的

奈良県には庶民のあいだで育まれてきた伝承文化（民俗文化）が豊かに存在します。しかしそれらは古代、中世の歴史遺産にくらべて、あまり認知されておらず、掘り起こしのための調査研究も十分でないまま、消滅しようとしています。本事業はそのなかでも、奈良県内に散在し世代交代のなかで急速に消滅しようとしている、「大和のわらべうた」について、今後の研究、顕彰ならびに活用の基礎資料とすることを目的に、資料を集成して記録作成を行いました。

補助事業の実施内容

大和のわらべうたについて、今後の顕彰、活用の基礎資料として資料を集成して記録作成を行いました。



▲チラシ

補助事業の成果と今後の活動に向けて

各機関に保存されている音源、資料等を集成し、音源を譜面に起こして刊行しました。奈良の文化遺産のなかで、従来あまり意識されてこなかった大和のわらべうたを位置付ける基礎資料となり、その研究と顕彰ならびに活用の進展を図ることができました。

今後は、大和の仕事唄の記録作成、公開講座事業に着手していきたいと考えています。



▲刊行物「秋篠文化」

寄付者からの声

寄付者： イオングループ

伝承文化である「大和のわらべうた」の研究・資料の収集、普及活動に弊社の「古都ならWAON」カード寄付金をご利用いただきありがとうございます。「大和のわらべうた」を奈良の文化遺産に位置付ける活動を継続下さい。

団体名 特定非営利活動法人奈良芸能文化協会

【団体の設立経緯・目的】

所在地 奈良市西大寺東町2丁目4番1号

奈良の伝統、民俗芸能の保存と公開活用、国際文化交流を図り、地域振興に寄与し、文化振興事業を発信する。

活動の様子
(実演『山添村のわらべ歌『うしろのせ(まりつき)』)



【団体の主な活動の内容】

奈良県の伝統・民俗芸能の調査研究・公開公演事業、市民芸能活動の支援、国際文化交流事業、秋篠音楽堂から発信する文化振興事業

寄 付 者：大和信用金庫
 テ ー マ：大和川水系の水環境改善事業

大和川の源流で、地域交流の輪を広げる、
 ホタルのサンクチュアリづくり

補助金額
 300,000 円

補助事業の背景と目的

事業地は、大和川の二次支川「芦川」の源流地に位置し、平成 24 年度の本事業費による補助で、源流域がこれ以上荒廃する前に、このエリアの生物多様性の保全をすすめることができました。そして現在、引き続いて、本事業地にわずかに残っているゲンジボタルとヘイケボタルを増殖させなければ、この地の個体群は絶滅してしまう危機にあり、急ぎ環境整備を行う必要性がありました。

補助事業の実施内容

事業地の学校法人奈良学園が、開校時に地元との協議の結果設置した砂防堤下の貯水池を一部改修し、ホタルが生息できる水深環境を新たに整備しました。この整備には、周辺の生物調査も並行して実施し、本チームのメンバーが主体的に関わって整備を進めました。整備するビオトープ空間を、周囲の環境とより有機的なつながりを持つ空間とするため、今までの活動に関わっていただいた専門家の方からの助言・サポート等を受けながら事業をすすめていきました。



▲作業風景

補助事業の成果と今後の活動に向けて

事業地周辺の整備により、前回整備を終えた芦川源流からより広範な水生動植物の生息空間が誕生しました。こうして、生物多様性の保全がすすむとともに、整備地を地域に開かれた「ホタルサンクチュアリ」として積極的に活用することで、多くの方々に環境保全教育の場を提供することができると思います。



▲作業風景

寄付者からの声

寄付者：大和信用金庫

「ホタルのサンクチュアリづくり事業」に弊金庫の寄付金をご活用いただきありがとうございました。今回の整備地に開かれた「ホタルサンクチュアリ」によりゲンジボタルとヘイケボタルが増殖し、環境が守られていくことを願っています。

団体名 矢田の丘里山支援チーム

所在地 大和郡山市山田町430
 奈良学園中学校・高等学校内

活動の様子
 (里山教室)



【団体の設立経緯・目的】

地域の環境保全活動と、生物多様性保全活動を支援し、地域の方々の交流をすすめる活動を行います。

【団体の主な活動の内容】

「国のまほろば」と称えられた斑鳩を囲む里山群を保全し、教育機関や地域団体・行政と共に維持管理します。

テーマ設定型

寄 付 者：大和信用金庫

テ ー マ：大和川水系の水環境改善事業

まちづくり事業（大和川堤防への看板設置）

補助金額
112,650 円

補助事業の背景と目的

大和川堤防のゴミ拾い・草刈を行い、子孫に美しい川を残すため活動していますが、いまだにゴミを捨てる人々が後を絶たないため、啓発活動を行いました。

補助事業の実施内容

大和川堤防の6か所に穴を掘り、ゴミ捨て防止の啓発看板を立てました。看板には、啓発になるような俳句を入れました。また、ゴミ捨ては犯罪である認識を持っていただくために、天理警察署の名前も入れました。



▲啓発看板

補助事業の成果と今後の活動に向けて

大型ゴミは減少しましたが、心無い人はまだまだゴミを捨てます。皆様の協力と忍耐強く活動が続けることが必要です。



▲啓発看板

寄付者からの声

寄付者： 大和信用金庫

「まちづくり事業（大和川堤防への看板設置）」に弊金庫の寄付金をご活用いただきありがとうございました。啓発活動を続けていただくことでゴミが減少し、大和川の水質改善につながることを期待いたします。

団体名 NPO法人 サポート大和川

所在地 磯城郡川西町下永1319

活動の様子
（ゴミ拾い
前の様子）



【団体の設立経緯・目的】

希薄している地域の繋がりを、川西町エリアで福祉・教育・災害救援に関する事業を行い、互いの関係を強固にしたい。

【団体の主な活動の内容】

- ・ 老人サロン
- ・ 配色サービス
- ・ 大和川の草刈、ゴミ拾い

寄 付 者：大和信用金庫
 テ ー マ：大和川水系の水環境改善事業

大和川源流域及び支流の整備事業

補助金額
95,873 円

補助事業の背景と目的

全国的に水質が悪いことで知られる大和川、その源流域及び支流を整備することで、美しい源流域と支流を保つことができ、豊かな自然環境づくりや大和川の水質改善につなげる目的で実施しました。

補助事業の実施内容

一般県民と地元のNPOや源流域の住民と一緒に大和川の支流を調査し、不法投棄されたごみの回収や源流域の環境整備を行いました。



▲源流域に不法投棄されたゴミ

補助事業の成果と今後の活動に向けて

参加した県民の大和川に対する意識が変わるだけでなく、大和川源流域の住民の意識も大きく変わり、自分たちの川は自分たちが守らないとという意識が広がりました。

7月18日の奈良県山の日・川の日には、県民にきれいな大和川の源流に触れてもらうイベントを地域の人と協力して開催しました。



▲地元の人と一緒に、源流の環境整備

寄付者からの声

寄付者： 大和信用金庫

「大和川源流域及び支流の整備事業」に弊金庫の寄付金をご活用いただきありがとうございました。この事業により大和川支流の環境が整備され、さらに地域のみなさまの環境保全への意識が向上したことをたいへん喜んでいます。

団体名	特定非営利活動法人 奈良 NPO センター	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市角振新屋町 8 ASACOM ビル 2F	2001年の設立以来、奈良をもっと元気に、より良い社会にしていこうとする市民活動を応援しています。
活動の様子 (源流体験ツアーの様子)		【団体の主な活動の内容】 NPOの運営支援、NPOの普及・啓発 行政・企業とNPOとの協働推進 担い手育成、ソーシャルビジネス支援

テーマ設定型

寄 付 者：財団法人奈良県青少年会館
テ ー マ：青少年の健全育成事業

やまとまちをつなぐ青少年ボランティア養成講座

補助金額
200,000円

補助事業の背景と目的

青少年が過疎化の進む奈良県山間部での体験学習を通して、奈良県の地域貢献活動に寄与する次世代のボランティアリーダーを養成することを目的として実施しました。

補助事業の実施内容

- ・ 現在、地域が置かれている状況や地域貢献活動の考え方の基本を学びました。
- ・ 自然や農林業に興味を持ち、体験活動を行う上での心構えを座学で学びました。
- ・ 東吉野村での体験活動を通じて、自分のできる地域貢献について考えました。



▲ミーティングの様子



▲東吉野村の古家

補助事業の成果と今後の活動に向けて

過疎化地域の活性化を考える上で、移住者や若者による新たな山村活性の取組みと併せて、村で生活をする地元の方々の暖かさに触れ、地元の方々の思いと寄り添った取組みを行う大切さを学びました。

本事業により、参加した青少年が自主的、積極的に様々な体験活動に取り組み、「奈良県の地域貢献活動に寄与する次世代のボランティアリーダー」へと成長していく一步目を担うことができたと思います。

また、当法人としては、参加者が興味を抱いていることのテーマのひとつに「移住」があることがわかり、都会では経験できない体験事業を組み入れて、翌年度以降事業を行っていただければと考えています。

ひとこと

青少年・社会活動推進課

東吉野村で青少年の育成と過疎地の活性化というふたつの目的を持った事業を実施されました。

これからも継続して、様々な課題に取り組んでいただければと思います。

団体名 特定非営利活動法人 ぷろぼの

所在地 奈良県生駒市元町2丁目1-19
元町ストレートビル

活動の様子
(事業所外観)



【団体の設立経緯・目的】

障がい者の就労支援事業

【団体の主な活動の内容】

障がいをお持ちの方々などが、尊厳や生きがいを持って地域社会で安心して暮らせるよう支援する

寄 付 者：財団法人奈良県青少年会館
 テ ー マ：青少年の健全育成事業

地域の高校生による寺子屋授業

補助金額
200,000 円

補助事業の背景と目的

大人のサポートをうけながら高校生のお兄ちゃんたちが先頭に立ち、地域の子供たちの勉強や、遊び相手等をする寺子屋授業を企画して行った。

補助事業の実施内容

主に、小中学生の勉強面での解らないところや、日々の学校での予習復習をサポートしながら、学校での困っている事など話しやすい環境等を作る事を目的として行った。高校生が保護者やお年寄り等ともコミュニケーションをとることができ、過疎化の現状を考えたり、大人が悩む部分を一緒に考えていく事ができた。働いているお母さんが多いので、地域のお兄ちゃんやお姉ちゃんたちが面倒をみて、縦の人間関係作りを学んだ。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

保護者からも「成績が上がった、毎日宿題をするようになった。机に向かう時間が増えた」と評判が良かった。また、当初高校生たちは、自分本位で授業の内容を考えがちであったが、日々が経つにつれ、小中学生の目線に立つなど、考え方が変わってきたことが目に見えてわかった。地域の小中学生と高校生の縦の関係作り、コミュニケーション、楽しく勉強をすること等で、高校生が非常に成長できたと感じており、本事業を行って本当に良かったと思う。小中学生の保護者からの要望も強いこと、全員ではないが、高校生から先生を続ける承諾も得たので来年度も実施していきたいと思う。

ひとこと

青少年・社会活動推進課

高校生が小中学生に授業に行き、地域での関係を形成する場づくり事業を行いました。

今後も継続して、地域のつながりを作り、青少年が成長できるような活動を期待いたします。

団体名	M C B	【団体の設立経緯・目的】
所在地	宇陀市室生大野2024-35	地域の子供たちの心技体の向上。
活動の様子 (流しそうめん中)		【団体の主な活動の内容】
		小中高校生にバスケットを教えながら、ボランティア活動やイベントなどの社会参加をしています。

寄 付 者：財団法人奈良県青少年会館
 テ ー マ：青少年の健全育成事業

大学生と同世代のニート支援

補助金額
29,360 円

補助事業の背景と目的

奈良県で、約 8 千人のニートがいると言われています。まずは、ニートの若者をいかに誘い出し対話するかが重要であると考えています。そこで、同じニート世代の大学生が、ニートの若者に対して理解をすることができるよう指導し、若年者世代の人材育成を行うことで、将来の社会問題を解決することにつなげることができると考え、事業を実施しました。

補助事業の実施内容

ニート支援について、限界がある中、ニートについて理解できる若い世代を育成することで、若い世代と、ニートの若者とが互いにかかわりを持つ仕組みの構築により、偏見がない社会をめざし、お互いにボトムアップを図ることができるのではないかと考え、大学生とニートの若者が直接かかわりを持つことができる事業を計画しました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

ニートの若者への呼びかけは、当法人が中心になり行いました。引きこもりの若者相談が 4 件、ニートの若者相談が 3 件ありました。相談いただいたニートの若者は、大学生と交流することについては遠慮されていましたが、その保護者と大学生との意見交換会は開催できました。



▲交流の様子

ひとこと

青少年・社会活動推進課

大学生がニートの支援を行うために、工夫して事業を実施されました。今回は、大学生とニートの若者が直接交流することはできませんでしたが、今後もそういった場を作るよう取り組んでいってください。

団体名 特定非営利活動法人 奈良NPOセンター

所在地 奈良市角振新屋町 8 ASACOM ビル 2F

活動の様子
(センター
内の様子)



【団体の設立経緯・目的】

2001年の設立以来、奈良をもっと元気に、より良い社会にしていこうとする市民活動を応援しています。

【団体の主な活動の内容】

NPOの運営支援、NPOの普及・啓発
 行政・企業とNPOとの協働推進
 担い手育成、ソーシャルビジネス支援

寄 付 者：財団法人奈良県青少年会館
 テ ー マ：青少年の健全育成事業

小学生を対象とした教育活動

補助金額
194,505 円

補助事業の背景と目的

日本の子どもの理数教科に対する関心は国際的（IEAやTIMSSの調査）にみても低く、新学習指導要領では、「理数教育の充実」が掲げられるようになりました。理数教育に必要なものは、年齢が低ければ低いほど、具体的・直接的体験から生み出される不思議さや好奇心が重要となります。そのため、学校教育現場以外にも、具体的体験ができる学びの場づくりを提供する機会を作ることとしました。

補助事業の実施内容

小学生を対象として、「科学遊び」をテーマとし、①巨大シャボン玉作り（平成27年11月21日（土））②くるくるアニメーション作り（平成27年12月19日（土））③ピンホールカメラ作り（平成28年1月23日（土））を実施しました。ものの仕組みや不思議さを知ること、日頃の学習意欲の向上にもつなげたいと考えました。



▲しゃぼん玉作り名人になろう

補助事業の成果と今後の活動に向けて

どの事業においても、家庭や学校ではできない発展的な内容を展開したため、子ども達も大変満足していました。また、保護者からも高い評価を受け、助成金後の事業継続も望む声がありました。本事業は、科学遊びをテーマとしており、理科教育の基本である観察、比較、試行の体験を通して、子ども達の発言から数多くの気付きが見られました。

事業実施の反省点として、兄弟姉妹で参加をした子ども達が多く、低年齢児には「科学遊び」が難しい内容となりました。そのため、低年齢児にも対応できるような内容も考えたいです。そのことを踏まえ、今後の活動に向けては、みなが楽しめる「科学遊び」を基本とし、遊びから学びへと接続できる内容へと、さらに充実させたいと考えています。



◀ ピンホールカメラを作ろう

ひとこと

青少年・社会活動推進課

小学生に科学の楽しさを伝える事業を実施されました。

これからも大学生と小学生がふれあい、お互いに学びあえるような事業を継続して実施されることを期待いたします。

団体名 奈良学園大学ボランティアサークル

所在地 生駒郡三郷町立野北3-12-1

活動の様子
（奈良学園
大学ボラン
ティアサー
クルメン
バー）



【団体の設立経緯・目的】

「人との出会い、場所との出会い、新しい自分との出会い」をテーマに、小学生の健全育成に携わります。

【団体の主な活動の内容】

小学校を対象とした学校地域連携事業の参加、吉野青年会議所とのキャンプ事業の企画運営、他。